

定期作況報告

(第4号 平成26年8月20日現在)

地方独立行政法人北海道立総合研究機構
農業研究本部 上川農業試験場

1. 気象概況

7月下旬：最高気温は平年より0.7℃低く、最低気温も平年より0.5℃低かった。降水量は平年より79.6mm多く、平年対比286%であった。降水日数は平年より2日多かった。日照時間は平年より17.8時間多く、平年対比132%であった。夏日（最高気温25℃以上）は8日で、うち真夏日（最高気温30℃以上）は2日であった。

8月上旬：最高気温は平年より0.6℃低く、最低気温は平年より0.6℃高かった。降水量は平年より157.5mm多く、平年対比526%であった。降水日数は平年より3日多かった。日照時間は平年より4.2時間少なく、平年対比92%であった。夏日は8日、うち真夏日は4日であった。

8月中旬：最高気温は平年より1.3℃低く、最低気温も平年より0.5℃低かった。降水量は平年より27.6mm少なく、平年対比63%であった。降水日数は平年並みであった。日照時間は平年より2.2時間多く、平年対比105%であった。夏日は6日で、真夏日は無かった。

7月下旬から8月中旬までの気象は表1のとおりである。

表1 気象

| 調査項目 | 7月下旬 | | | 8月上旬 | | | 8月中旬 | | | 平均または合計 | | |
|----------|-------|------|-------|-------|------|-------|------|------|--------|---------|-------|-------|
| | 本年 | 平年 | 比較 | 本年 | 平年 | 比較 | 本年 | 平年 | 比較 | 本年 | 平年 | 比較 |
| 最高気温(℃) | 26.8 | 27.5 | ▲ 0.7 | 27.9 | 28.5 | ▲ 0.6 | 25.9 | 27.2 | ▲ 1.3 | 26.9 | 27.7 | ▲ 0.8 |
| 最低気温(℃) | 16.3 | 16.8 | ▲ 0.5 | 19.0 | 18.4 | 0.6 | 16.9 | 17.4 | ▲ 0.5 | 17.4 | 17.5 | ▲ 0.1 |
| 平均気温(℃) | 21.2 | 21.6 | ▲ 0.4 | 22.9 | 22.9 | 0.0 | 20.9 | 21.8 | ▲ 0.9 | 21.7 | 22.1 | ▲ 0.4 |
| 降水量(mm) | 122.5 | 42.9 | 79.6 | 194.5 | 37.0 | 157.5 | 47.0 | 74.6 | ▲ 27.6 | 364.0 | 154.5 | 209.5 |
| 降水日数(日) | 6 | 4 | 2 | 6 | 3 | 3 | 5 | 5 | 0 | 17 | 12 | 5 |
| 日照時間(hr) | 74.2 | 56.4 | 17.8 | 50.4 | 54.6 | ▲ 4.2 | 46.3 | 44.1 | 2.2 | 170.9 | 155.1 | 15.8 |

注1) 比布アメダス観測値。

2) 平年は比布アメダス前10カ年の平均値。

3) ▲印は平年に比べて減を示す。

1) 水 稲 : 並

5月20日現在作況 : 並

事由 : 播種は平年より1~2日遅い4月15日に行った。育苗期間中は、平年より高温多照で、出芽揃も良好で、苗の生育は進んだ。移植は平年より3日早い5月16日に行った。移植時の草丈は平年に比べ「きらら397」が1.1cm高く「ななつぼし」が0.6cm高く、「ゆめぴりか」が1.0cm低かった。主稈葉数および茎数はいずれも平年並で、第1葉鞘高は平年より0.8cm低く、地上部乾物重は平年に比べ「きらら397」と「ななつぼし」でそれぞれ0.29、0.23g重く、「ゆめぴりか」で1.11g軽かった。以上のように移植時の苗素質は平年並みであった。移植後2日間は極低温に経過し、植痛みがみられた。これらのことから、目下の作況は「並」である。

6月20日現在作況 : やや不良

事由 : 移植直後に低温による植痛みがあったが、5月末から6月第1週まで好天が続き、順調に回復した。しかし、6月第2週以降は降雨が続き、日照も少なかったことから、主稈葉数は平年に比べ0.5~0.6枚多いものの、草丈は「きらら397」「ゆめぴりか」でそれぞれ1.9、1.2cm高く、「ななつぼし」で2.4cm低く総じて平年並みで、m²あたりの茎数は10~37%少なかった。生育は進んでいるものの、生育量が不足していることから、目下の作況は「やや不良」である。

7月20日現在作況 : 並

事由 : 6月下旬以降高温多照に推移したため、生育は進んだ。すなわち、幼穂形成期は「ななつぼし」「きらら397」で2日遅れた一方、「ゆめぴりか」で2日早く、平均で平年並みであったが、その後の止葉期は平年より1~3日早くなった。止葉葉数は平年より0.5~0.7枚多く、草丈は平年より2.1~4.5cm高かった。m²あたりの茎数は「ななつぼし」「ゆめぴりか」でそれぞれ6、9%多い一方、「きらら397」で5%少なかった。生育は2日程度早く、茎数も平年並みに確保されており、目下の作況は「並」である。

8月20日現在作況 : 並

事由 : 出穂期は平年より1~2日早かったが、穂揃い日数は2~4日長かった。稈長は2.0~6.6cm長いが、穂長は0.3~1.0cm短かった。m²あたり穂数は「きらら397」で8%少なかったが、「ななつぼし」「ゆめぴりか」でそれぞれ平年より6、7%多かった。m²あたり穂数は品種の平均でわずかに多い傾向があるが、穂長がやや短いことから、目下の作況は「並」である。

表2 8月20日の水稻の生育

| 項目 | 品種名 /年次 | ななつぼし | | | きらら397 | | | ゆめぴりか | | | |
|--------|---------------------------|-------|------|-------|--------|------|-------|-------|------|--------|------|
| | | 本年 | 平年 | 比較 | 本年 | 平年 | 比較 | 本年 | 平年 | 比較 | |
| 生育期節 | 播種期 (月日) | 4.15 | 4.14 | 1 | 4.15 | 4.13 | 1 | 4.15 | 4.14 | 1 | |
| | 移植期 (月日) | 5.16 | 5.19 | △3 | 5.16 | 5.19 | △3 | 5.16 | 5.19 | △3 | |
| | 幼穂形成期 (月日) | 6.24 | 6.22 | 2 | 6.26 | 6.24 | 2 | 6.22 | 6.24 | △2 | |
| | 止葉期 (月日) | 7.07 | 7.08 | △1 | 7.09 | 7.11 | △2 | 7.06 | 7.09 | △3 | |
| | 出穂期 (月日) | 7.19 | 7.20 | △1 | 7.21 | 7.22 | △1 | 7.18 | 7.20 | △2 | |
| | 成熟期 (月日) | | 9.07 | | | 9.10 | | | 9.06 | | |
| | 穂揃日数 (日) | 11 | 7 | 4 | 9 | 7 | 2 | 10 | 8 | 2 | |
| | 登熟日数 (日) | | 49 | | | 50 | | | 48 | | |
| | 生育日数 (日) | | 147 | | 149 | | | 145 | | | |
| 移植時 | 草丈 (cm) | 13.8 | 13.2 | 0.6 | 13.6 | 12.5 | 1.1 | 12.5 | 13.5 | ▲ 1.0 | |
| | 葉数 (枚) | 4.2 | 4.0 | 0.2 | 4.4 | 4.1 | 0.3 | 4.5 | 4.3 | 0.2 | |
| | 茎数 (本) | 1.8 | 1.7 | 0.1 | 2.1 | 1.9 | 0.2 | 2.2 | 2.0 | 0.2 | |
| | 第1葉鞘高 (cm) | 1.8 | 2.6 | ▲ 0.8 | 1.8 | 2.6 | ▲ 0.8 | 1.7 | 2.5 | ▲ 0.8 | |
| | 地上部乾物重 (g/100本) | 4.46 | 4.23 | 0.23 | 4.36 | 4.07 | 0.29 | 3.67 | 4.78 | ▲ 1.11 | |
| 本田生育 | 葉数 (枚) | 6月20日 | 8.9 | 8.3 | 0.6 | 9.2 | 8.7 | 0.5 | 9.2 | 8.6 | 0.6 |
| | | 7月20日 | 11.0 | 10.3 | 0.7 | 11.8 | 11.1 | 0.7 | 11.2 | 10.7 | 0.5 |
| | | 止葉葉数 | 11.0 | 10.3 | 0.7 | 11.8 | 11.1 | 0.7 | 11.2 | 10.7 | 0.5 |
| | 茎数 (本/m ²) | 6月20日 | 504 | 624 | ▲ 120 | 465 | 743 | ▲ 278 | 617 | 683 | ▲ 66 |
| | | 7月20日 | 786 | 742 | 44 | 777 | 814 | ▲ 37 | 885 | 813 | 72 |
| | 草丈 (cm) | 6月20日 | 38.5 | 40.9 | ▲ 2.4 | 36.7 | 34.8 | 1.9 | 39.1 | 37.9 | 1.2 |
| 7月20日 | | 87.6 | 83.1 | 4.5 | 76.7 | 74.6 | 2.1 | 84.3 | 79.9 | 4.4 | |
| 成熟期 | 稈長 (cm) | 73.9 | 67.3 | 6.6 | 66.3 | 61.8 | 4.5 | 67.1 | 65.1 | 2.0 | |
| | 穂長 (cm) | 16.0 | 16.9 | ▲ 0.9 | 16.4 | 16.7 | ▲ 0.3 | 15.8 | 16.8 | ▲ 1.0 | |
| | 穂数 (本/m ²) | 723 | 680 | 43 | 685 | 744 | ▲ 59 | 795 | 746 | 49 | |
| 収量構成要素 | 一穂粒数 (粒) | | 49.6 | | | 42.0 | | | 42.7 | | |
| | m ² あたり粒数 (×千) | | 33.8 | | | 31.1 | | | 31.7 | | |
| | 稔実歩合 (%) | | 95.6 | | | 94.5 | | | 95.0 | | |
| | 登熟歩合 (%) | | 89.6 | | | 86.0 | | | 86.2 | | |
| | 籾摺歩合 (%) | | 81.9 | | | 81.4 | | | 79.1 | | |
| | 屑米歩合 (%) | | 1.6 | | | 1.8 | | | 3.0 | | |
| | 精玄米千粒重 (g) | | 22.5 | | | 23.3 | | | 23.0 | | |
| 収量 | 葉重 (kg/10a) | | 633 | | | 596 | | | 622 | | |
| | 精籾重 (kg/10a) | | 807 | | | 789 | | | 812 | | |
| | 精玄米重 (kg/10a) | | 661 | | | 642 | | | 641 | | |
| | 収量平年比 (%) | | 100 | | | 100 | | | 100 | | |
| | 検査等級 (等) | | 1下 | | | 1下 | | | 1下 | | |

注 1) 「きらら397」「ななつぼし」の平年値は前7カ年の中、平成20年(最豊年)、平成21年(最凶年)を除く5カ年の平均。「ゆめぴりか」の平年値は前6カ年中、平成21年(最凶年)を除く5カ年の平均。

2) △は平年に比べ「早」、▲は平年に比べ「減」を示す。

3) 苗代耕種概要 育苗様式：成苗ポット苗
施肥量：成分量でm²あたり、床土 N 3.0g, P 7.2g, K 3.0g、置床 N 27.0g, P 34.0g, K 18.0g

4) 本田耕種概要 栽植密度：25.3株/m² (33.0cm×12.0cm)、3本植
施肥量：成分量で10aあたり、N 8.0kg, P 9.7kg, K 6.9kg、堆肥1,000kg

5) 精玄米千粒重・精玄米重：網目1.90mm以上、水分15%換算

2) 秋まき小麦：やや良

平成25年

9月20日現在

平年より4日早い9月11日に播種を行った。出芽期は9月20日で平年より4日早い。

10月20日現在：平年並

事由：現在のところ、平年と比較して葉数がやや多く、生育は進んでいる。草丈は高いが、茎数はやや少ない。

平成26年

5月20日現在：平年並

事由：根雪始は平年より1日遅く、根雪終は平年より9日遅く、積雪期間は平年より8日長い146日となった。雪腐病発病度は平年並で、発生菌種は紅色雪腐病が主体であった。越冬前茎数は少なかったが、越冬茎歩合は平年より高く、現在の茎数は平年並である。根雪終が平年より遅かったが、4月下旬以降気温が平年より高く推移したため、現在の草丈はほぼ平年並である。

したがって、目下の作況は「平年並」である。

6月20日現在：やや不良

事由：5月下旬から6月上旬にかけて高温・干ばつ傾向で推移した。そのため生育が進み、出穂期は平年より3日早く、草丈は平年を下回っている。また、茎の無効分げつ化も進み、㎡当たり茎数は平年より少ない。

したがって、目下の作況は「やや不良」である。

7月20日現在：やや不良

事由：6月下旬以降、気温は平年より高く、降雨は平年より少なく干ばつ気味であった。成熟期は平年より2日早い7月16日であったが、出穂期は平年より3日早かったため、登熟期間は平年より1日長かった。成熟期における穂長は平年並であったが、稈長は平年より短く、穂数は平年の85%であった。

したがって、目下の作況は「やや不良」である。

8月20日現在：やや良

事由：成熟期における穂数が平年を下回ったものの、子実の充実は良好であり、リットル重と千粒重は平年をやや上回り、子実重はやや多収となった。

したがって、目下の作況は「やや良」である。

表3. 8月20日の秋まき小麦の生育

| 品 種 名 | | きたほなみ | | |
|---------------------------|-----------------------|-------|-------|-------|
| 項 目 \ 年次 | | 本 年 | 平 年 | 比 較 |
| 播種期 (月.日) | | 9.11 | 9.15 | △ 4 |
| 出芽期 (月.日) | | 9.20 | 9.24 | △ 4 |
| 出穂期 (月.日) | | 6.03 | 6.06 | △ 3 |
| 成熟期 (月.日) | | 7.16 | 7.18 | △ 2 |
| 越冬茎歩合 (%) | | 140.4 | 121.5 | 18.9 |
| 雪腐病発病度 | | 12.5 | 10.1 | 2.4 |
| 葉数(枚) | 平25年10月20日 | 5.1 | 4.4 | 0.7 |
| 草丈 (cm) | 平25年10月20日 | 20.3 | 17.8 | 2.5 |
| | 平26年 5月20日 | 37.4 | 41.3 | ▲ 3.9 |
| | 平26年 6月20日 | 82.0 | 89.6 | ▲ 7.6 |
| 茎数 (本/m ²) | 平25年10月20日 | 717 | 747 | ▲ 30 |
| | 平26年 5月20日 | 1341 | 1277 | 64 |
| | 平26年 6月20日 | 633 | 689 | ▲ 56 |
| 成 熟 期 | 稈長 (cm) | 73 | 81 | ▲ 8 |
| | 穂長 (cm) | 8.9 | 8.6 | 0.3 |
| | 穂数(本/m ²) | 555 | 656 | ▲ 101 |
| 子実重 (kg/10a) | | 709 | 676 | 33 |
| 同上平年比 (%) | | 105 | 100 | 5 |
| リットル重 (g) | | 812 | 799 | 13 |
| 千粒重 (g) | | 41.7 | 40.1 | 1.6 |
| 検査等級 (等) | | | 2中 | - |

注 1) 平年値は、前7か年中、平成19年、22年（収穫年度）を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を、▲は平年より減を示す。

3) 春まき小麦：やや良

5月20日現在：良

事由：融雪は遅れたがその後の天候が良好であったため、播種期は平年より2日早い4月18日であった。播種後、平年より気温が高く経過したことから、出芽期は平年より4日早い4月30日となった。出芽後も気温が高く経過したため生育は良好で、草丈、茎数は明らかに平年を上回っている。

したがって、目下の作況は「良」である。

6月20日現在：良

事由：5月下旬以降も引き続き高温・多照に経過したことから生育は良好で、出穂期は平年より7日早く、草丈および㎡当たり茎数ともに平年を上回った。

したがって、目下の作況は「良」である。

7月20日現在：やや不良

事由：6月下旬以降は高温干ばつ傾向で推移したため、茎の無効化が進んだ。穂長は平年並であるが、稈長は平年よりやや短く、穂数は平年の78%であった。

したがって、目下の作況は「やや不良」である。

8月20日現在：やや良

事由：成熟期は平年より6日早かったが、出穂期は平年より7日早かったため、登熟期間は平年より1日長かった。穂数が平年を下回ったことから低収が懸念されたが、子実重は平年を14%上回った。

したがって、目下の作況は「やや良」である。

表4. 8月20日の春まき小麦の生育

| 品 種 名 | | 春よ恋 | | |
|-------------|----------|------|------|-------|
| 項 目 | 年次 | 本 年 | 平 年 | 比 較 |
| 播種期 | (月.日) | 4.18 | 4.20 | △ 2 |
| 出芽期 | (月.日) | 4.30 | 5.04 | △ 4 |
| 出穂期 | (月.日) | 6.11 | 6.18 | △ 7 |
| 成熟期 | (月.日) | 7.23 | 7.29 | △ 6 |
| 草丈 (cm) | 5月20日 | 25.7 | 19.5 | 6.2 |
| | 6月20日 | 93.9 | 75.6 | 18.3 |
| 茎数 (本/㎡) | 5月20日 | 913 | 569 | 344 |
| | 6月20日 | 705 | 657 | 48 |
| 成 熟 期 | 稈長 (cm) | 87 | 91 | ▲ 4 |
| | 穂長 (cm) | 8.5 | 8.7 | ▲ 0.2 |
| | 穂数(本/㎡) | 393 | 504 | ▲ 111 |
| 子実重 | (kg/10a) | 548 | 479 | 69 |
| 同上 | 平年比 (%) | 114 | 100 | 14 |
| リットル重 | (g) | | 793 | |
| 千粒重 | (g) | | 40.1 | |
| 検査等級 | (等) | | 2中 | - |

注 1) 平年値は、前7か年中、平成22年、24年を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早、▲は平年より減を示す。

4) 大 豆： やや不良

6月20日現在：良

事由：播種期は平年より7日早い5月15日であった。播種直後に十分な降水があったため、出芽揃いに大きな問題はなかったが、出芽期の平年との差は播種直後の著しい低温により3日に縮まった。出芽期前後は著しい高温・少雨に経過し、出芽直後の生育は緩慢であったが、6月9日以降の連続した降雨と少照により徒長気味に伸長が進み、主莖長、主莖節数とも平年を上回っている。

したがって、目下の作況は「良」である。

7月20日現在：平年並

事由：高温・多照により生育が早まり、開花期は平年より7日早い7月4日で、作況に「ユキホマレ」を供試した過去14年間で最も早かった。生育の早まりと少雨により莖長は抑制され、主莖長は平年より12.6cm短い。主莖節数は平年よりわずかに少なく、分枝数はやや少ない。

したがって、目下の作況は「平年並」である。

8月20日現在：やや不良

事由：7月第5半旬までの高温、干ばつにより主莖の伸長停止が早まり、主莖長は平年より18.3cm短い。分枝は平年より少なく、着莢数も平年より少ない。

したがって、目下の作況は「やや不良」である。

表5 8月20日の大豆の生育

| 品 種 名 | | ユキホマレ | | |
|-----------------|--------------|-------|------|--------|
| 項 目 \ 年次 | | 本 年 | 平 年 | 比 較 |
| 播種期 | (月.日) | 5.15 | 5.22 | △ 7 |
| 出芽期 | (月.日) | 5.31 | 6.03 | △ 3 |
| 開花期 | (月.日) | 7.04 | 7.11 | △ 7 |
| 成熟期 | (月.日) | | 9.21 | |
| 主茎長 (cm) | 6月20日 | 18.4 | 13.3 | 5.1 |
| | 7月20日 | 51.1 | 63.7 | ▲ 12.6 |
| | 8月20日 | 51.5 | 69.8 | ▲ 18.3 |
| | 9月20日 成熟期 | | 70.1 | |
| 主茎 節数 (節) | 6月20日 | 5.4 | 4.6 | 0.8 |
| | 7月20日 | 10.1 | 10.4 | ▲ 0.3 |
| | 8月20日 | 10.4 | 10.5 | ▲ 0.1 |
| | 9月20日 成熟期 | | 10.5 | |
| 分枝数 (本/株) | 7月20日 | 6.5 | 7.1 | ▲ 0.6 |
| | 8月20日 | 4.2 | 7.2 | ▲ 3.0 |
| | 9月20日 | | 5.9 | |
| | 成熟期 | | 5.7 | |
| 着莢数 (個/株) | 8月20日 | 75 | 83 | ▲ 8 |
| | 9月20日 | | 73 | |
| | 成熟期 | | 73 | |
| 子実重 | (kg/10a) | | 421 | |
| 同上 | 平年比 (%) | | 100 | |
| 百粒重 | (g) | | 37.6 | |
| 屑粒率 | (%) | | 3.6 | |
| 検査等級 | (等) | | 3上 | - |

注 1) 平年値は、前7か年中、平成20年、22年を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を、▲は平年より減を示す。

5) 小豆： やや不良

6月20日現在：良

事由：播種期は平年より2日早い5月22日であった。出芽期は6月5日で平年より4日早かったが、播種後の高温と少雨により出芽は不ぞろいであった。6月上旬に著しい高温、乾燥となったが、6月中旬には連続した降水があったため、主茎長、本葉数とも平年を上回っている。

したがって、目下の作況は「良」である。

7月20日現在：良

事由：高温、少雨に経過したが、要所でまとまった降水があったため、分枝数はやや少ないものの、主茎長、本葉数とも平年を上回っている。

したがって、目下の作況は「良」である。

8月20日現在：やや不良

事由：開花期は平年並であった。主茎長はほぼ平年並で、本葉数は平年よりやや少ない。分枝数、着莢数も平年よりやや少ない。

したがって、目下の作況は「やや不良」である。

表6 8月20日の小豆の生育

| 品 種 名 | | エリモシヨウズ | | |
|--------------|----------|---------|------|-------|
| 項 目 \ 年次 | | 本 年 | 平 年 | 比 較 |
| 播種期 | (月.日) | 5.22 | 5.24 | △ 2 |
| 出芽期 | (月.日) | 6.05 | 6.09 | △ 4 |
| 開花期 | (月.日) | 7.21 | 7.21 | 0 |
| 成熟期 | (月.日) | | 9.3 | |
| 主茎長 (cm) | 6月20日 | 6.5 | 4.8 | 1.7 |
| | 7月20日 | 44.2 | 36.5 | 7.7 |
| | 8月20日 | 70.2 | 68.7 | 1.5 |
| | 成熟期 | | 74.0 | |
| 本葉数 (枚) | 6月20日 | 2.3 | 1.3 | 1.0 |
| | 7月20日 | 11.4 | 9.7 | 1.7 |
| | 8月20日 | 12.5 | 13.3 | ▲ 0.8 |
| 主茎節数 (節) | 成熟期 | | 15.2 | |
| 分枝数 (本/株) | 7月20日 | 5.7 | 6.1 | ▲ 0.4 |
| | 8月20日 | 5.3 | 5.7 | ▲ 0.4 |
| | 成熟期 | | 5.2 | |
| 着莢数 (個/株) | 8月20日 | 51.3 | 56.2 | ▲ 4.9 |
| | 成熟期 | | 56.0 | |
| 子実重 | (kg/10a) | | 308 | |
| 同上 | 平年比 (%) | | 100 | |
| 百粒重 | (g) | | 12.4 | |
| 屑粒率 | (%) | | 3.4 | |
| 検査等級 | (等) | | 3下 | - |

注 1) 平年値は、前7か年中、平成19年、平成20年を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を、▲は平年より減を示す。

6) ばれいしょ： やや良

5月20日現在

植付けは、平年（5月11日）より3日早い5月8日に行った。

6月20日現在： やや良

事由：植付けは平年より3日早かったが、5月第4半旬から第5半旬にかけて低温に経過したため、萌芽期は平年より1日遅かった。5月第6半旬から6月上旬にかけての記録的な猛暑により初期生育は早く、さらに6月9日以降の連続した降雨と少照により茎の伸長が徒長気味に進み、茎長は平年より8.9cm長い。したがって、目下の作況は「やや良」である。

7月20日現在： やや良

事由：開花始は平年より1日早かった。高温・少雨による茎葉の萎れ、倒伏が急速に進みつつあり、少雨による早期枯凋が懸念される。しかし、茎長は平年より大きく上回り、上いもは一個重が平年より6g重く、上いも収量は平年より約1割多く、でん粉価も平年より2.3ポイント高い。したがって、目下の作況は「やや良」である。

8月20日現在： やや良

事由：7月下旬から8月上旬にかけて十分な降水量があったため、塊茎の肥大が促進され、上いも平均一個重は平年より11g重く、上いも収量も平年を上回っている。しかし、でん粉価は多量の降雨により低下し、平年より1.0ポイント低い。

したがって、目下の作況は「やや良」である。

表7. 8月20日のばれいしょの生育

| 品 種 名 | | 男爵薯 | | |
|-------------------|-----------------|------|------|-------|
| 項 目 \ 年次 | | 本 年 | 平 年 | 比 較 |
| 植付期 | (月.日) | 5.08 | 5.11 | △ 3 |
| 萌芽期 | (月.日) | 5.29 | 5.28 | 1 |
| 開花始 | (月.日) | 6.22 | 6.23 | △ 1 |
| 枯凋期 | (月.日) | | 8.31 | |
| 茎長 (cm) | 6月20日 | 43.2 | 34.3 | 8.9 |
| | 7月20日 | 55.9 | 46.0 | 9.9 |
| 上いも数 (個/株) | 7月20日 | 9.8 | 9.6 | 0.2 |
| | 8月20日 | 10.3 | 11.3 | ▲ 1.0 |
| 上いも平均 一個重 (g) | 7月20日 | 81 | 75 | 6 |
| | 8月20日 | 106 | 95 | 11 |
| 上いも収量 (kg/10a) | 7月20日 | 3496 | 3165 | 331 |
| | 8月20日 | 4886 | 4686 | 200 |
| でん粉価 (%) | 7月20日 | 15.8 | 13.5 | 2.3 |
| | 8月20日 | 14.4 | 15.4 | ▲ 1.0 |
| 収 穫 期 | 上いも数 (個/株) | | 11.1 | |
| | 上いも平均一個重(g) | | 96 | |
| | 上いも収量 (kg/10a) | | 4650 | |
| | 同上平年比 (%) | | 100 | |
| | 中以上いも収量(kg/10a) | | 4059 | |
| | 同上平年比 (%) | | 100 | |
| | 規格内いも収量(kg/10a) | | 3887 | |
| | 同上平年比 (%) | | 100 | |
| | でん粉価 (%) | | 15.3 | |

注 1) 平年値は、前7か年中、平成19年、22年を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早、▲は平年より減を示す。